

中学校給食の補助拡充を

党府会議員団が知事に要請



震化を完了させ、専門職員が運営に責任をなればならぬ。持つ自校直営方式を守るなど、実施に向けた財政負担は厳しいものとなっております。

党府議員団は、安全で豊かな中学校給食の公立中学校全校実施に向け、施設整備費（初期投資）の補助率を

3. 中学校給食の実施にあたっては、市町村との連携を強化し、栄養教諭（学校栄養職員）の配置や必要な教職員の人員確保など『食育』にふさわしい環境整備を進めるとともに地産地消を推進する。

4. すでに中学校給食を実施している市町村に対しても「学校新設」や「全面改修」に限らず、施設整備や消耗品等のインシャルコストも補助対象とするなど柔軟な対応を図る。

5. 市町村の職員体制の事情などにより「今年度中に実施計画を提出できない」或いは「より積極的な計画に変更する」場合など、「今年度中の実施計画提出」に代わらず、府として柔軟に対応し、必要な支援を行う。

6. 市町村に対しては「全員喫食」を基本とした「実施計画」とするよう強く働きかける。

7. 給食調理室を設置する土地確保が困難な市町村に対しては、用地取得費について府補助制度を活用できるように柔軟に対応する。

日本共産党大阪府議団（宮原威団長）は、去る8月17日、橋下徹知事あてに「安全で豊かな中学校給食の実施に向けた大阪府中学校給食導入促進事業補助制度の拡充等についての要望」を提出しました。

府は、今年度から5年間、中学校給食導入促進に向けた補助制度を設けました。

しかし、市町村は2015年度までに校舎の耐震化を完了させ、専門職員が運営に責任をなればならぬ。持つ自校直営方式を守るなど、実施に向けた財政負担は厳しいものとなっております。

党府議員団は、安全で豊かな中学校給食の公立中学校全校実施に向け、施設整備費（初期投資）の補助率を

1. 施設整備費（初期投資）の補助率を現行の2分の1から3分の2へと引き上げるとともに補助金の上限額を引き上げる。

2. 学校給食法第5条は、「国及び地方公共団体は、学校給食の普及と健全な発達を図るよう努めなければならない」と明記されており、この立場から、学校給食に必要な施設整備費や人件費など運営経費（ランニングコスト）について国に対して補助を拡充するよう求める。

3. 中学校給食の実施にあたっては、市町村との連携を強化し、栄養教諭（学校栄養職員）の配置や必要な教職員の人員確保など『食育』にふさわしい環境整備を進めるとともに地産地消を推進する。

4. すでに中学校給食を実施している市町村に対しても「学校新設」や「全面改修」に限らず、施設整備や消耗品等のインシャルコストも補助対象とするなど柔軟な対応を図る。

5. 市町村の職員体制の事情などにより「今年度中に実施計画を提出できない」或いは「より積極的な計画に変更する」場合など、「今年度中の実施計画提出」に代わらず、府として柔軟に対応し、必要な支援を行う。

6. 市町村に対しては「全員喫食」を基本とした「実施計画」とするよう強く働きかける。

7. 給食調理室を設置する土地確保が困難な市町村に対しては、用地取得費について府補助制度を活用できるように柔軟に対応する。

震災救援ボランティアを募集しています

9月21日～30日

震災から6ヶ月となりましたが、現地では、まだまだ支援の人も物資も必要です。枚方から物資を車に積んでいきます。

現地から要請されている物資は、米・台所用品・日用雑貨、パスタオル・タオルケット・毛布などです。

ボランティア申込み、物資の受付など、お問い合わせは党市委員会まで。

震災だからじゃ済まされない！
まともな仕事と人間らしい生活を！



大阪青年大集会 2011

10月8日(土)
13時 START

大阪市立中央区民センター



参加費無料

詳しい情報は <http://osakaseinen.blog32.fc2.com/> へ

おりがち賑活動日記



梅田二弁士が大阪府知事選に...

11月27日は知事と大阪市長のダブル選挙となりそうです。「明るい民主政」の会から知事選に梅田章二弁士が出馬表明。

4年前、知事選と府会補選が同時に行

われ、私は補欠選の候補者として戦いました。あの時、誕生した橋下知事と知事率いる「大阪維新の会」は、カジノの誘致や「関西リニア新幹線」の整備、「大阪都構想」実現で、さらに大阪を沈没させようとしています。梅田さんで、この動きにストップをかけましょう。

